

国家資格「2級建築施工管理技術検定学科(前期)」

令和4年度 建築科3年生全員受検

合格率 80%超

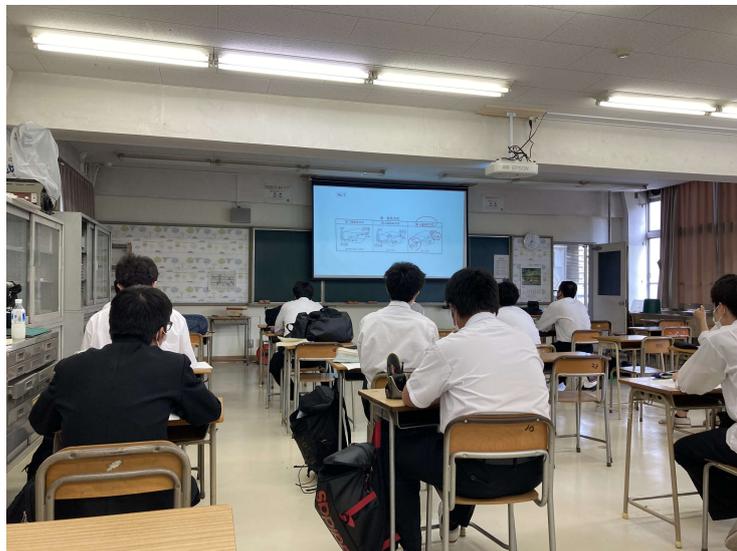
(ただし、自己採点。全国平均合格率約38%)

建築施工管理技術検定とは、合格すると建築工事現場にて監督や進行の管理を行うことができる「国家資格 施工管理技士」になります。建設業界では、建築士と同様に必要な資格です。

昨年度から、2級建築施工管理技術検定(第一次検定)の合格者は、「**施工管理技士補(国家資格)**」の資格を取得できるようになりました。今回の試験では、すでに建設会社等で働いている社会人も多く受検している中に、本校生徒たちも混じって受検しました。

工業高校建築科在学中に、技士補の資格を持っているということは、プロになるために備えた勉強をしている証明であり、卒業後すぐに入社後の即戦力になりうる知識を身につけていると考えられます。

今回合格できた生徒たちは、取得するために頑張り抜いて得られた自信と、これから始まる就職・進路活動に必要な履歴書に「**施工管理技士補取得**」と記入できる喜びを感じています。



↑ 校内での講習会。社会人と同じ内容を受講。